

「いじめ撲滅キャンペーン(11月11日～12月9日)」に向けて ～なくそういじめ 広めよう思いやり～ STOP いじめ

いじめは、理由がどうであれ絶対に許してはいけないことであり、人権を侵害する行為であることを、改めてみんなで再確認し、「いじめ撲滅」に向け、できることを考え、行動に移すことが、今、必要です。本来、誰もが、思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることができる優しさを持っています。だからこそ、いじめで苦しむことなく、誰もが楽しく学校生活を送れる世の中にしたいと思います。そのためには、あなたの力が必要です。いじめで苦しんでいる人を支え、救えるのはあなたの力です。一人で救う事が難しければ、周りの友人や大人と一緒にになって、いじめ撲滅に向けて行動を起こしてください。

《子どもたちへ》

- 今、いじめをしている人はすぐにやめてください。いじめは決して許されません。軽い遊びやふざけているだけだと思っているかもしれませんが、あなたの言葉や態度、行為が相手の心を傷つけ、苦しみを与えていることに気づいてください。
- 今、いじめを受けている人は、一人で悩まずに周囲の大人にすぐ相談してください。苦しい時は、誰でもいいからすぐに相談しましょう。電話でも、どんな方法でもかまいません。思っていることを、口に出すと気持ち楽になります。信じられる人、気持ちを受け止めてくれる人は、あなたのそばに、必ずいます。
- いじめられている人が身の回りにいたら、勇気を持って、学校の先生や保護者など周囲の大人に知らせてください。その勇気がいじめの加害者も被害者も救います。一緒にいじめを止めましょう。いじめを見て見ぬふりをすることは、いじめを認めることになります。
- ネット上の軽い気持ちの書き込み、個人情報、写真等の掲示が相手を傷つけることにつながることもあります。自分の発信する情報には責任をもってください。また、名前を名乗らずに書き込みをしたとしても、発信したIPアドレスから発信者を特定することができます。

《教職員へ》

- 「いじめは、いつ、どこでも起こり得るものである」「誰もがいじめの被害者にも加害者にもなり得るものである」という危機感・緊張感をもって、いじめ問題に対する取り組みを進めてください。
- いじめは絶対に許さないという毅然とした言葉と態度で子どもたちを指導してください。
- 助けを求めている子どもがいます。子どもが発するサインを見逃すことがないように、丁寧な児童生徒理解に努め、情報を共有し、教師が力を合わせて、いじめられている子を守り抜いてください。
- 子どもから相談を受けた場合は、予断や偏見を持たず真摯に話を聞いて、少しでもいじめの可能性があればいじめられている子どもの立場に立ち、徹底して、いじめ問題に取り組んでください。

《保護者の皆様へ》

- お子さんの様子を注意深く観察し、気になることがあったら、学校や相談機関に相談してください。子どもに寄り添い、子どもの声を聞き、どれほど子どもたちがかけがえのないものか伝えてください。また、他の児童生徒をいじめることがないように、そして、いじめは絶対に許されないということを、家庭の中でもよく話し合ってください。
- ネット上のいじめ等の脅威から子どもを守るため、携帯電話等を利用する場合にはルールを作り、フィルタリングを設定するようにしてください。